

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	33	重度化した場合や終末期のあり方について、まだ法人としての指針が作成されていない。	重度化した場合や終末期のあり方について、本人及び家族等と話し合いを行い、事業所のできることを十分に説明し、ご理解いただき、法人としての指針を作成する。	施設での支援の限界点をガイドライン化し、方針を作成し、施設入居契約時、指針について説明する文書を早期に作成する。	3ヶ月
2	40	食事づくりは様々な過程があり、利用者の個々の残存能力を活かし楽しみとなる工夫が可能ではないか。	以前より、林檎の皮むきやゴボウのさがき作りなど簡易な料理過程には参加頂いているが、もう少し、幅広く、食事作りに参加できるようにする。	個々の能力に応じて、少しでも食事作りに参加できるように、参加の呼びかけ等を工夫する。	1ヶ月
3	35	昼間と夜間を想定した消防訓練を行っているが、地域の消防訓練にも職員が参加し、有事に対する危険意識や対応の向上をめざす。	職員が地域の消防訓練に参加し、また、地域の方も施設の消防訓練等に参加していただく。	施設内の防災については運営推進会議を活用するとともに、地域での防災訓練等に職員が参加する。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。